

科目名		一級設計製図演習			
担当教員		平山 貴士		実務授業の有無	有
対象学科	一級建築士専攻科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	演習	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1級建築士の設計製図試験に対応した建築計画と作図技術の習得を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計条件等をしっかりと読み解く能力を習得する。 ・制限時間内に図面を書き上げる製図能力を習得する。 ・エスキースでミスの無いプランニング能力を習得する。 ・表現力豊かな図面の作成能力を習得する。 				
学習目標 (到達目標)	一級建築士製図試験でランクⅠを取りこぼさない図面を書けるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	一級建築士試験製図テキスト(総合資格) 一級建築士試験図面の書き方(総合資格)				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	図面のレベル向上			図面のトレースから始めます。作図において何が重要か。何の線を書いているのか理解を深める事が重要です。図面の綺麗さと作図スピードを特に重視します。	
2	要点の精度向上			A3用紙に各課題のアピールを書き、図面の補足をする項目。間違いのないアピール方法、文章構成、内容の理解が重要です。丁寧な文字での図面の補足を特に重視します。	
3	エスキースの精度向上			エスキースの手順から学習します。合格できるエスキースの考え方、空間の構成の仕方から学習し、細かい部屋の取め方、面積要求の解決法など合格に必要な考え方を学習します。	
4	チェックの精度向上			中間チェックと最終チェックが合否を分けます。課題文の要求が全て網羅できるチェックを行える能力を特に重視してトレーニングしていきます。	
5	一式課題の精度向上			図面一式を試験時間内に合格ラインまで仕上げる総合的な能力向上を図る。タイムスケジュールを特に重視し、タイムスケジュールに則った図面を仕上げる能力を特に重視する。	
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			一級建築士製図の難易度は高く、合格率10%程度の学科試験を通過した受験者の中から例年30%程度の合格率である試験です。確実に製図試験で合格するためには製図試験の上位10%を目指す科目だと思ってください。そのため要求が多く、レベルの高い授業になります。せっかくの一年を無駄にしないよう共に頑張りましょう。	
100 %	%	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	平山 貴士：設計業務に6年、住宅新築・改修工事に6年携わっている。				